高等学校コンソーシアム京都 沿革

*印は,京都市立高等学校の改編など

年月	事業内容
平成 12 年 3 月	○「高等学校コンソーシアム京都」設立(3月27日)
平成 12 年 5 月	○アンケート調査の実施・高校生インターンシップに関して、企業ニーズを把握するためにアンケート調査を実施
平成 12 年 7 月	○インターンシップ受入先の紹介と調整 ・平成11年度より試行している洛陽工業,伏見工業高等学校のインタ ーンシップについて,学校のニーズに応じた受入企業の紹介及び調整 を実施
平成 13 年 4 月~ 平成 14 年 3 月	○産学連携事業の推進・教員の企業派遣研修先紹介と受入先のコーディネート・定時制進路指導主事研修講座や伏見工業高等学校の授業への社会人講師の派遣及び紹介
平成 13 年 5 月	○企業訪問の実施 ・産業界の連携の強化を進めるため、120社を超える企業を訪問し、情 報交換や市立高校生のインターンシップを拡大するための協力要請 を実施
平成 13 年 7 月	○京都府高等学校ロボット大会への協賛を企業へ依頼
平成 13 年 12 月	○インターンシップ関係の冊子の作成・インターンシップの内容充実を図るために、「生徒用インターンシップ・ガイドブック」「教員用インターンシップ手引書」を作成し、市立高等学校に配布
平成 14 年 1 月	○第9回 京都市立高等学校ロボット競技大会・主催:京都市立高等学校工業教育研究会・第9回より高等学校コンソーシアム京都が協賛
平成 14 年 2 月	○西京商業高等学校新学科設置に向けた支援・西京商業高等学校の学科改編に伴う教育課程と教材作成の検討に対し、側面支援を実施
平成 14 年 5 月	○積極的な企業訪問スタート ・積極的に企業を訪問し,経営者やインターンシップ指導担当者と直接, 意見交換を行い,今後の問題点や改善点を明確化
平成 14 年 6 月	○京都高大連携研究協議会準備会への参画 ・高大連携に向けた取組(大学コンソーシアム京都との連携)
平成 14 年 7, 9, 11, 12 月	○社会人講師の紹介および派遣事業の実施

年 月	事業内容
平成 14 年 9 月	○第7回 京都府高等学校ロボット大会 ・主催:京都府公立高等学校長会工業科部会 共催:公益財団法人 京都産業 21 主管:京都府高等学校工業教育研究連絡協議会 ・第7回より来賓として出席
平成 14 年 10 月	○西京高等学校新学科「エンタープライジング科」発足に向けた支援・1年次から卒業までの3年間に産業界、大学との連携を体系的に行うための側面支援
平成 14 年 1 1 月	○「企業用インターンシップ手引書」作成 ・企業側からの意見や要望を参考に「企業用インターンシップ手引書」 を作成し、インターンシップ受入企業へ配布
平成 15 年 4 月	*西京商業高等学校の校名を西京高等学校に改称 ・未来社会創造学科エンタープライジング科を創設
平成 15 年 5 月	○高大連携事業の推進・大学コンソーシアム京都が「京都高大連携研究協議会」を設立・府立・市立・私立高校の参画により発足し、高等学校コンソーシアム京都事務局長が運営委員に就任
平成 15 年 8 月	○産学連携事業の推進・精華町にグランドオープンした「私のしごと館」の教育部会委員に 高等学校コンソーシアム京都事務局長が就任
	○21 世紀型教育コンテンツ開発委員会への参画
平成 15 年 11 月	○「Joint S&E Forum」スタート ・生徒発表,講演,企業経営者と高校生との懇談会を行う新規事業 ・主催:京都洛南ライオンズクラブ 共催:高等学校コンソーシアム京都 ・参加校 3 校(西京,洛陽工業,伏見工業高等学校)でスタート
平成 16 年 2 月	○「高大連携教育フォーラム」スタート ・主催:京都高大連携研究協議会
平成 16 年 4 月	○社会人講師の紹介および派遣事業の実施・京都市立高等学校新規採用教員研修会,京都市立高等学校教頭研修会へ社会人講師を派遣
平成 16 年 7 月	○産学連携事業の推進・京都府産業教育振興会への参画・京都商工会議所 地域活性化推進委員連絡会議への参画
平成 17 年 1 月	○第 12 回 京都市立高等学校ロボット競技大会 ・第 12 回より高等学校コンソーシアム京都からの表彰を開始

年 月	事 業 内 容
平成 18 年 1 月	○京都市立高等学校工業教育研究会「生徒発表会」 ・平成 17 年度より協賛 ・参加校 2 校(洛陽工業, 伏見工業高等学校)
平成 18 年 4 月~ 平成 19 年 3 月	○伏見工業高等学校デュアルシステム支援事業 ・伏見工業高等学校昼間定時制システム工学科キャリア実践コースで 実施するデュアルシステムを支援するため、高等学校コンソーシアム 京都事務局に作業チームを設置 ・京都商工会議所、京都経済同友会、京都経営者協会、京都工業会等の 経済団体等にも協力をいただき、企業の新規開拓を実施
平成 18 年 9 月 平成 19 年 1 月	○地域活性化推進委員連絡会議への参画・「『伝統と先進の共生』プロフェッショナル探究型キャリア教育」事業・「京都市スチューデントシティ・ファイナンスパーク」事業・「京都こどもモノづくり」事業
平成 19 年 2 月	○高等学校コンソーシアム京都ホームページの開設
平成 19 年 4 月	*伏見工業高等学校昼間定時制システム工学科キャリア実践コースを 設置
平成 19 年 11 月	○産学連携事業の推進・京都中小企業展「テクノ新選組!!」への出展・各校のインターンシップの取組紹介を高等学校コンソーシアム京都として展示・伏見工業高等学校キャリア実践コースへの協力依頼パンフレットの配布
平成 19 年 11 月	○「第 5 回 Joint S&E Forum」 ・第 5 回より府立高校(桂,京都すばる,田辺高等学校)も参加
平成 21 年 4 月	○伏見工業高等学校昼間定時制システム工学科キャリア実践コース ・「企業長期研修」開始
平成 22 年 3 月	○「高等学校コンソーシアム京都」設立 10 周年記念式典 挙行 ○「高等学校コンソーシアム京都」設立 10 周年記念誌 発行
平成 23 年 1 月	○「大学入試センター試験シミュレーション」スタート ・参加校 2 校(塔南、日吉ケ丘高等学校)でスタート ・開始年度より高等学校コンソーシアム京都が協賛
平成 23 年 3 月	*洛陽工業高等学校定時制 閉制

年月	事 業 内 容
平成 23 年 8 月	○「京都大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (VBL) グローバル リーダー育成カップ高校生部門」 ・主催:グローバルリーダー育成協議会 協賛:京都大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 事務局:京都市教育委員会,高等学校コンソーシアム京都 ・平成 23 年度,24 年度の 2 年間実施
平成 24 年 2 月	○京都市立高等学校教育研究会工業部会「生徒発表会」・教科研究会の名称の変更
平成 24 年 8 月	○「京都学生人間力大賞 高校生版」 ・主催:京都青年会議所 ・審査員として参画 ・平成 24 年度, 25 年度の 2 年間実施
平成 25 年 2 月	○「Kyoto Girls & Ladies Forum」 ・主催:京都高大連携研究協議会,高等学校コンソーシアム京都
平成 25 年 12 月	○「ガールズキャリアトーク in 京都」スタート ・「Kyoto Girls & Ladies Forum」の後継事業,平成 26 年度まで実施
平成 26 年 5 月	○「京都市立高校グローバルリーダー育成研修」スタート ・事前研修,教育長表敬訪問,事後研修の支援
平成 27 年 2 月	○「京都市立高等学校英語プレゼンコンテスト」スタート ・主催:京都市立高等学校教育研究会英語部会,京都市教育委員会, 高等学校コンソーシアム京都
平成 27 年 11 月	○「第 13 回 Joint S&E Forum」 ・第 13 回より市立大原小中学校も参加
平成 28 年 2 月	○「ガールズキャリアトーク」スタート ・主催:京都高大連携研究協議会 共催:高等学校コンソーシアム京都 ・「ガールズキャリアトーク in 京都」の後継事業,平成28年度まで 実施
平成 28 年 4 月	*京都工学院高等学校 開校
平成 28 年 4 月	○運営委員会・ワーキング部会 ・平成 28 年度より京都工学院高等学校が入会
平成 29 年 3 月	* 伏見工業高等学校昼間定時制 閉制
平成 29 年 4 月	○運営委員会・ワーキング部会 ・平成 29 年度より塔南高等学校が入会

年 月	事 業 内 容
平成 30 年 2 月	○「ワーク・ライフトーク」・「ガールズキャリアトーク」の後継事業
平成 30 年 3 月	*洛陽工業高等学校 閉校 *伏見工業高等学校全日制 閉制
平成 30 年 4 月	○運営委員会・ワーキング部会 ・平成 30 年度より日吉ケ丘高等学校が入会
平成 30 年 11 月	○「高大社連携フューチャーセッション」スタート ・「ワーク・ライフトーク」の後継事業
平成 31 年 3 月	○塔南高等学校 学校運営協議会発足 ・オブザーバーとして参画
平成 31 年 4 月	○塔南高等学校のサポートボードとして参画
令和2年3月	○「高等学校コンソーシアム京都」設立 20 周年記念誌 発行